

平成27年度 管理施設の利用状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

<利用人数>

(単位:人)

	ミーティング &交流	ワーク	情報	スペース 利用小計	相談対応	施設見学・案内・ 情報交換・ その他利用者	総数
4月	390	240	36	666	9	332	1,007
5月	243	154	16	413	9	360	782
6月	295	158	16	469	17	323	809
7月	300	168	22	490	9	384	883
8月	303	132	19	454	14	297	765
9月	438	180	21	639	2	301	942
10月	317	131	9	457	8	354	819
11月	276	147	21	444	10	320	774
12月	285	105	9	399	9	349	757
1月	323	138	6	467	5	352	824
2月	350	142	22	514	9	1,180	1,703
3月	448	192	15	655	4	341	1,000
計	3,968	1,887	212	6,067	105	4,893	11,065

(注) \*スペース利用小計＝ミーティング&交流スペース＋ワークスペース＋情報スペース利用者  
\*総数＝スペース利用小計＋相談対応＋施設見学・案内・情報交換・その他利用者数

<参考>

平成25年度	4,557	1,506	476	6,539	194	5811	12,544
平成26年度	4,316	1,403	476	6,195	128	3094	9,417

平成27年度 市民公益活動支援センターの利用者アンケート結果

回収枚数 62 枚

基本属性

性別	1.男性	26
	2.女性	36

年齢	1.10-20代	0
	2.30-40代	5
	3.50-60代	25
	4.70才以上	32
	5.未記入	0

職業	1.会社員	2
	2.パート・アルバイト	2
	3.公務員	4
	4.自営業	1
	5.学生	0
	6.その他	50
	7.未記入	3

住所	1.市内	54
	2.市外	5
	3.未記入	3

用件 (複数可)	1.会議	31
	2.相談等	4
	3.印刷等	31
	4.紙折り機等	6
	5.情報収集	1
	6.貸ロッカー他	3
	7.その他	9
	8.未記入	1

管理・運営について

開館日時	1.良い	47
	2.普通	12
	3.要改善	1
	4.未記入	2

内容	1.良い	48
	2.普通	12
	3.要改善	1
	4.未記入	1

清潔さ	1.良い	48
	2.普通	13
	3.要改善	0
	4.未記入	1

充実度	1.良い	54
	2.普通	7
	3.要改善	0
	4.未記入	1

スタッフ	1.良い	54
	2.普通	7
	3.要改善	0
	4.未記入	1

利用スペースについて

ミーティング 交流	1.良い	31
	2.普通	14
	3.要改善	0
	4.未記入	17

ワーク	1.良い	33
	2.普通	17
	3.要改善	0
	4.未記入	12

情報	1.良い	25
	2.普通	18
	3.要改善	0
	4.未記入	19

貸ロッカー 貸ブース	1.良い	16
	2.普通	20
	3.要改善	0
	4.未記入	26

その他	1.良い	5
	2.普通	5
	3.要改善	0
	4.未記入	52

自由意見

- ・ より多くの市民に存在を知らせる方法(むずかしいですが)
  - ・ 中学生、高校生等の出入りがある事も必要かと思う。
  - ・ あらかじめ予約ができないので、当日行って満席の場合は、又会場探しをしなければならない。
  - ・ 不安があるので、どうしても使いにくい面がある。
  - ・ 飲料の水道に浄水器をつけてほしい。いつもスタッフの方々にはご親切に対応して頂き感謝しています。ありがとうございます。
  - ・ 自治会活動にたいへん助けとなっています。
  - ・ 帳合いの設置を希望します。
  - ・ あまり利用させていただく機会は今のところございませんが、又よろしく願いいたします。
  - ・ 温かく迎えていただける雰囲気がうれしいです。
  - ・ 毎月利用させていただいてありがたいです。
  - ・ いつもご親切に対応して頂き、うれしく思っております。
  - ・ 使いやすく、大変助かりです。
  - ・ 夜間活動のサークルなので、夜間に利用できるのは、大変ありがたいです。
  - ・ 利用スペースは、あまり利用したことがありませんので、わかりません。
  - ・ 非常に重宝しております。
  - ・ 昨年のバーベキューおいしかったです。他の団体の皆さんとも交流できて、良かったです。今年は会費をとって、ふれあい、つきあい、語り合いたいものです。
  - ・ 印刷やパソコン操作を教えていただき助かります。
  - ・ いつも便利に利用させてもらっています。
- ミーティング:1回/月 印刷:2回/月作業スペースが広いのでありがたい。

# 平成27年度 事業概要

※資料3

事業名称	概要				評価・所見等
	日程	会場	延人数	内容、テーマ、講師等	
<b>1. 情報の収集・提供に関する事業</b>					
ボランティア・市民活動紹介冊子「ガイドブック」の作成	7月	市内のボランティアまたは市民活動をしている団体・グループの情報（平成27年7月現在）をまとめた冊子(550部)及び一覧表A4版・A5版(計4110部)を発行し、団体(128団体)、福祉施設、学校等に配布及びるーぷらざ・キックス等で閲覧し活用した。			ボランティア・市民活動を始めたい人に最新情報を提供することで、活動を始めるにあたって良い情報源となっている。また、団体毎に紹介カード(団体かるた)を作成し相談者に配布できるようにした。
防災情報紙の発行	年2回	ボランティア・市民活動団体関係の防災や災害時の取組みに関する情報紙として、創刊号と第2号を発行した。			災害時の対応、準備等の情報提供、災害時にボランティア団体等が「何が出来るか」を考えるきっかけとした。
支援センター情報紙「るーぷらざだより」の発行	年4回	支援センター情報紙、春号(29号)夏号(30号)秋号(31号)冬号(32号)の4回発行(各号カラー版1,500部)、「ガイドブック」掲載団体・推進委員などに配布、各公共施設等に配架、来場者に配布した。			支援センターの行事・施設活用紹介・団体活動記事など色々な情報が掲載できた。なお、団体が積極的に活用できる工夫が必要である。
他市他施設の調査・研究	11月10日	吹田市立市民公益活動センター	14	吹田市立市民公益活動センターを見学し、施設及び事業内容の説明を受けた。	同センターは子どもから年輩まで幅広い人に活用されていた。また月1回講座開催など勉強になった。
ホームページの管理運営	通年			支援センターの管理運営状況の更新、支援センター行事のお知らせ、団体年間行事のお知らせ等を掲載した。	定期的に更新ができた。当センターの行事や情報が迅速に掲載できるようになった。
その他	通年			キックス1階情報コーナー・市役所・フォレスト・公民館等に団体活動をPRするチラシ等配架、及び、来場者に団体活動情報が提供できた。	様々な場所で団体活動の情報の提供及び収集できた。
<b>2. 学習機会の提供に関する事業</b>					
ボランティア活動入門講座	5月30日	キックス	46	テーマ：人生・出会い～今、求められる地域の底力 内容：地域社会、元気の出るボランティア活動、地域社会のあり方 講師：常盤学園大学教授 向出佳司氏	元気な地域社会を作るため、自分と他者の相互尊重に基づいたコミュニケーションを大切にしたい人間関係の在り方・築き方のコツを分かりやすく講義していただいた。
ボランティア活動体験・見学プログラム	夏：7月22日～9月28日	キックス・ボランティアセンター・その他	夏：356 通年：143	対象：市民(幼児・小学生以上の市内在住・在勤・在学) 目的：各ボランティア団体の活動状況を見学し実際に体験し、ボランティア活動を理解してもらい参加の機会をつくる。実施プログラム数：夏34、通年3プログラム 参加団体数：夏20、通年3団体	子供を対象にしたプログラムの参加者は好評、学生のインターンシップでボランティア活動を体験してもらい良い人生経験を与えることができた。なお、広報活動を工夫しより多くの市民に周知、また、各団体の活動内容をより分かりやすく紹介する方法を検討する。
グループ運営講座	10月1日	るーぷらざ	9	テーマ：会計実務講座(入門～中級編)「わかる!出来る!NPO法人会計」 講師：大阪ボランティア協会事務局長 水谷 綾氏	NPOとして活動しているボランティア団体にとって、大切な会計処理の方法を分かりやすく講義して頂いた。中級編であったため参加団体が予想以上に少なかった。
<b>3. 交流促進に関する事業</b>					
市民まつりへの参加	5月10日	寺ヶ池公園 小山田小学校	—	「復興支援活動の情報」「河内長野で私が見た聞いたこんなこと」、風船膨らまし・飴入りかぶとの折り紙などのワーク、掲載団体活動一覧表「ガイドブック」、「るーぷらざだより」「イベント情報」などを展示	「るーぷらざ」の資料、団体紹介ポスターなど展示、団体のワークショップ実施、また、啓発用風船を来場者自身に作ってもらう等子どもから大人まで喜んでもらえ、にぎやかな交流になった。
市内団体交流会	11月20日	るーぷらざ	28 参加団体数：12	対象者：市民公益活動団体など。内容：団体活動報告と情報交換、名刺交換、「るーぷらざまつり」with焼き芋、B.B.Q.ワークカフェ	「るーぷらざまつり」とし「るーぷらざ」の前庭で実施、近隣住民にもPRできた、また、参加者全員が交流でき、新しい出会いができた。
ボランティア・市民活動フェスティバル	2月28日	キックス及びるーぷらざ	5,100 参加団体69	目的：参加団体の活動を紹介し、ボランティア・市民活動の啓発及び促進を図る。テーマ：楽しもう 笑顔でつなぐ ボランティア 内容：市内のボランティア団体の活動紹介、日本ライトハウス(盲導犬訓練所)募金、展示・ワーク・フリーマーケット・ステージ、絵画コンクール展、「るーぷらざ」でぼらんていあ善	参加団体による内容の検討会の実施でより内容が充実でき、新規団体の参加で、来場者に小さな親子連れが増えた。また、事前の広報の充実で、「るーぷらざ」の会場でのイベントなど来場者増加、「るーぷらざ」施設についての理解深まった。絵画コンクール絵画コンクール展の応募は76名と多かった。
<b>4. 相談・コーディネートに関する事業</b>					
ボランティア・市民活動情報提供コーナー	通年	るーぷらざ	件数：85	ボランティアをしようとする来場者に、相談や団体活動情報を提供できた。また、福祉施設などとボランティア団体のボランティアマッチングも行った。	「ボランティアをしたい、探している」の相談が30%、マッチングが22%であった。昨年より相談件数が減少した。今後は相談件数を増やす工夫と共に、相談員の質の向上が必要である。
ボランティアサポーター養成講座	12月18日	るーぷらざ	16	目的：ボランティアのすそ野を広げる。内容：そもそもボランティアとは? ボランティアサポーターができること 講師：大阪ボランティア協会 椋木美保緒氏	ボランティアの基本的な考え方、理想的なボランティア、ボランティアの幅の広さなどを学んだ。その上で改めて今後の私たちのボランティアのあり方を考えるきっかけになった。
相談・コーディネート機能	7月11日 12月24日	大阪市西区民センター 阪南市市民活動センター	1 3	ボランティアコーディネータ基礎研修ボランティアって何、ボランティアコーディネーションとは 阪南市市民活動センターの施設見学	中間支援組織におけるボランティアコーディネーションの基本的な考え方や業務の流れについて学べた。 阪南市市民活動センターの施設の運営を聞き、また、意見交換ができた。
ステップアップ講座	1月21日 3月18日	るーぷらざ	12 16	初級手話講座：手話の基本を学ぶ(手や身振り会話できる手話) 対象：初めて手話を学ぶ方 講師：手話サークル さくらんぼ ポジティブ心理学入門講座：笑ってストレスマネジメント 講師：関西福祉科学大学健康福祉学部教授文学博士 山田 富美雄氏	聴覚障がい者のコミュニケーション方法の一つである「手話」を学んで、聴覚障がい者への理解を深め、コミュニケーションを図る方法を学んだ。 人々を幸福に導くための心理学のレシピを作りである「ポジティブ心理学」の入門講座。少し違う角度から物事を見ることで、日常にユーモアを取り込み、ストレスから解放され幸せになれる。
<b>5. 支援センター管理運営及び事務局の事業</b>					
支援センター管理運営	通年			支援センターの管理運営(各事業・行事)、るーぷらざ設備の提供など	大きな問題もなく遂行できた。また、内容も向上した。
地域連携防災まちづくり講座	全6回	河内長野ガスセミナー室他	25	災害時に地域が連携する事の大切さを学び、被害を最小限に抑えるために地域でできることについて考え	地域での自主防災組織作りが広がる中、防災に関心の高い方々が参加された。
地域型組織活性化	まちづくり協議会のるーぷらざで各校区別のチラシの展示、日程の把握など。自治振興課主催の自治会意見交換交流会開催協力、自治会関連の相談対応など				まちづくり協議会のチラシを展示、また、市民の方からの協議会の内容や日程連絡などができた。
市民公益活動支援補助金活用講座兼プレゼンテーション講座	3月3日	るーぷらざ	7	市民公益活動支援補助金制度活用講座兼プレゼンテーション講座 講師：認定NPO法人大阪NPOセンター事務局長 堀野亘求氏	市民公益活動支援補助金を受けるにあたり、申請のポイント、事業の目的、事業の内容、審査基準項目や審査員目線からのプレゼン説明を受けた。
センターラウンドテーブル るーぷらざの集い	毎月第2土曜	るーぷらざ	59	「住み良いまち、安心できるまち、自然を満喫できるまちを私たちの手で」様々な分野で活躍する人が対等な立場で課題を共有し情報交換する場、ここからネットワークが広がり地域づくりにつなげる。	話題を絞る参加人員を増やすため10月からテーマを設けて開催するようになったが、増加にはつながらなかった。幅広く市民に呼びかける必要がある。
イベント情報の発行	年12回	毎月初めに発行、「るーぷらざ」及び団体の行事を掲載			毎月初めに定期的に発行できた。
救急救命講座	9月11日	るーぷらざ	10	内容：救命入門コース・河内長野市消防本部より2名、	主に心肺蘇生とAEDの講習
消防訓練	9月11日	るーぷらざ	10	消火器・自火報の操作訓練・避難訓練	緊急時を想定した訓練が出来た。
	3月12日	るーぷらざ	9	消火器・自火報の操作訓練・避難訓練	緊急時を想定した訓練が出来た。
大学生のインターンシップ受入事業	8月～9月	るーぷらざ	大学生18	市民協働課の要請により大学生のインターンシップの受け入れ、同課と共同で実施、当センターの実習、夏の体験見学プログラムに参加、且つ、体験報告会を行った。	今年は9大学から18名、12の体験見学プログラムに参加し、学生が地域社会とのつながり、その中でボランティアに関心を持ってもらう事ができた。
団体支援パソコン講座	6月2日～3月28日	るーぷらざ	18回/年 参加者15	パソコン講座：ボランティア団体会員を対象 内容：Windows8を基本として、Word2013の使い方を学ぶ。講師：ホームページ・パソコン支援「らくがき」	今年度は、テキストを用い、写真・イラスト・アート文字の挿入を含め文書等を作成する「回覧・チラシ・ポスター・情報紙」が作成できるパソコン講座で、団体の活動に役立て頂くことができると思う。
スタッフ研修	7月10日 8月21日	るーぷらざ	7 12	スタッフ接遇研修：ビジネスマナー障がいのある人への応対 HUG(避難所運営ゲーム)：避難所運営を考えるためのひとつの手法として、模擬体験するゲーム	
その他	11月29日 その都度	大阪大谷大学	57 —	南河内のつどい：11月29日第6回南河内のつどい「語ろうよ!安心して逝けるまちづくり」を開催 支援センターの管理運営や行事内容の紹介・展示・他自治体等の視察・研修受け入れ、市内情報誌等への情報提供(シリーズ掲載)など	

## 平成27年度 相談対応の主な内容と件数

## 1. 相談項目と件数

No	分類	相談等の内容	件数
1	ボランティア活動をしたい	退職者・学生がボランティアをしたい。なんとなくボランティアをしたい。	26
2	マッチング	ダンス・舞踊・福祉施設でボランティアしたい。	19
3	当センターの使用・利用に関する事	センターは何をすところ、る一ぷの集い参加、自治会のセンター利用、ラミネート利用など	6
4	「ガイドブック」掲載に関する事	「ガイドブック」の掲載方法、内容、書き方、手続きなど	5
5	自治会・老人会・子供会活動に関する事	子ども会の企画・行事支援、自治会活動・運営・役員について、自治会の問題点、ひきこもり、介護施設・デイサービスなど	4
6	団体運営・行事企画、団体立ち上げなど	団体の方向性・悩みごと、情報提供、支援協力要請(行事・講座、チラシ作成)、会員募集依頼、ボランティア要請など	3
7	支援補助金、協働事業に関する事	制度の内容、申請方法、制度の運営・活動について	2
8	NPO活動、NPO立ち上げに関する事	NPO準備・立上たい、申請方法、会計処理、NPO情報・取り組み方・支援(融資)	1
9	ボランティア保険に関する事	市の市民公益活動補償制度などについての相談など	1
10	その他	手続きの方法、報告書の書き方など	18
計			85

## 2. 所見

マッチングの相談が増えた。

受付簿に相談内容を記載し、また、運営委員会等での相談内容の説明をするなどにより、情報交換ができた。

例年あった募金・寄附・助成金に関する事、まちづくり協議会、まちづくり関係、大学連携・支援関係に関する事等の相談が無かった。